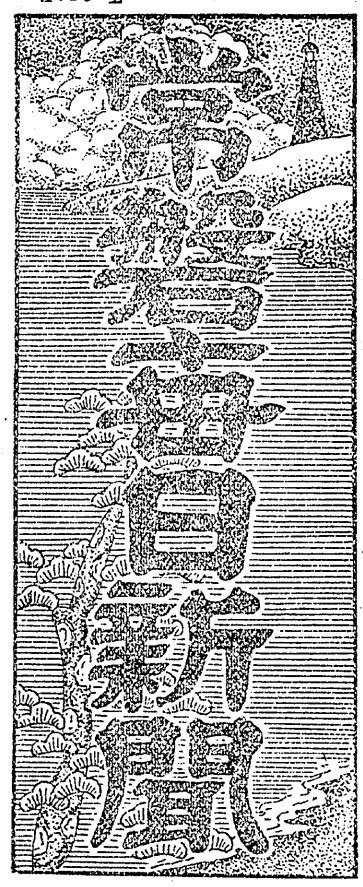
五月廿三日【夕刊】



一部金貳錢　一月五十錢郵稅五厘
廣告料　五號十三字詰一行五十錢
發行兼編輯人　川崎文治
印刷人
福島縣石城郡平町大字平字橋長町五三
發行所　常磐毎日新聞社
印刷所　常磐毎日印刷株式會社
電話〇三六番

五十九議會を顧みて（終）

代議士　木村清治

農村とともに救はれないのは、多數の失業群である内務當局は失業者の定義を極めて狹く解して、昭和五年十月一日現在を三十七万四千人と見てゐる、このうちには數十万人におよんでゐる都會から追はれた歸農者も數へてゐなければ、自家營業者にして店を閉ぢてしまつたものも加へてゐない、年々校門を出て賣り殘されてゐる學校卒業者の職に就かないものも入れてゐない、おそらくこれらを通算すれば我國における失業者は百万人を超過するものと見られてゐる、しかもこれらの失業者は政府事業の繰延中止によつて直接生じたものか、然らずんば政府の經濟政策の影響を蒙つて生じたものである、失業し飢餓線上にさまよつてゐる人たちの野宿してゐるところを「民政黨の墓場」と呼んでゐるのもそこにある、これが救濟は當然國の事業としてなすべきものであるにかゝはらず地方公共團體の事業に委ねて顧みず、ために地方財政を壓迫してゐたのである、昭和六年度からは中央政府の事業としてやることになつたが、それによつて救濟し得られるのは八万一千人にすぎないといふに至つてはその誠意を疑はざるを得ない、内務當局者の失業者數三十七万余人に對しても二割あまりの救濟にとゞまるではないか、しかもその救濟は日傭勞働者本位のものであつて熟練職工や知識階級に屬するものの失業については殆んど顧みるところがない、その詳細については後章に述ぶることとして、とにかく現内閣は失業防止につとめず却つてこれを增加せしめ、その救濟についても不誠意であり、一時凌ぎによつて當面を糊塗してゐるにすぎない、なほ團體的購買力を無視するかぎりにおいてこれによる不況の打開を期することも出來ない。

七、合理的積極政策の提唱

要するに現内閣は我國の直面してゐる經濟の實態に對する觀測を誤り詭辯を弄してゐるうへに不況を打開すべき當面對策としての農村並びに失業救濟問題について無爲無策をつづけてゐる、或ひは不誠意無情冷酷であるといふのが當つてゐる、みづから文字通りの經濟國難に陷らしめてその罪を悟らず、無力にして何等策の出づることなき現内閣に對して我黨が不信任を叫ぶ所以もここにある、金融資本家を偏重する消極退嬰の經濟政策を排して堅實なる合理的積極政策を提唱する所以もここにある、一方に人口增加の必然的趨勢に顧み他方に明治初年以來入超を續けつゝある貿易の實態を具さに調査し、ここに我國において生産可能なるもの七億圓乃至十億圓を算する貨物に對して産業五箇年計劃を樹立せんとするのである、これが實現を期するに當つては稅制も改正すべく關稅政策も確立すべく販賣運輸政策の改善も圖らねばならぬ、若し夫れ國家の施設を要するについての財源を見出すためには徹底的に行政なり官業なりの整理を行ふべく官有財産の處理もなすべく場合によつては奢侈稅を新設するなり相續稅を增徵することも考へらるべく、それにてもなほ不足するにおいては生産公債の募集をもつてするも差支へないと信ずるのである。かうしてこそはじめて經濟復興の新氣運が釀されるのである。

京都日傘
◎粋なパラソルとスカーフ
◎スマートな中折　それと
◎明朗百プロのYシャツ
モリタヤ洋品店
5丁目　電353

産婆開業
私事三井鑛山株式會社湯本鑛業所に開業致して居りましたが今般左記の所に轉居開業致しました何卒御引立を御願申上げます
◎姙婦
◎産婦
◎褥婦
◎生兒
安全に努めます
御困りの御方には無料で御扱ひ致します
平町田町五十二番地（安齊外科醫院入口角）
産婆　白石テル
（呼）電話六五三番

貸切
初夏
綠丘に乙女藤、砂丘に濱豌藤
お散策にお商用に是非……
驛前　イワキタクシー
電話　五六九番

醫院開業
專門
産婦人科
花柳病科
◎午前宅診　◎午後往診
◎入院應需
井坂醫院
平町田町（舊合津醫院跡）
電話五五九番

酒場
今般家事都合上居拔のまゝ格安に讓り度し
御希望の方は中町　佐藤ブドー酒店へ御來談を乞ふ

石炭スケート
ナールほど、是レハ良イ石炭ダ良イ石炭ダト云フ事ハ何時モ聞イテ居タガ！
此レ程良イ石炭トハ思ハンカツタ
品ガ良ク
値ガ安ク
經濟的ニハ正ニ百パーセントダ
モシ〳〵電話二三七番デスカ早ク一俵御屆ケ下サイ
平停車場前
阿部石炭商店
◇配達ハ一俵ヨリ致シマス

吉田眼科病院
平紺屋町、電話六八番

戸數割減税は 二重ぜめに

石城郡町村 後年度財政に影響が重大

石城郡各町村中六年度豫算において戸數割の減税を行つた町村が少くなかつた事は既報の如く、しかもその減額程度は可なりに思ひ切つたものであり、中には全廢に近い

減額をやつたところもある、この減税其ものを切りはなして見れば時勢に適合した尤もな處置と見る事が出來るであらうが、困つたのはそのために當然招來される後年度町村財政をどうするかの問題で、これは數年後には町村財政上重大な

問題として現れるではないかと憂慮されてゐるその理由は

これ等の戸數割減税はその財源を町村基本財産の運用に求めたものであるために、これを以て永久財源と見る事が出來ないところが他面一度下げた戸數割の減税は容易にこれを復活する事が出來ない、つまりこうしたやり方は臨時收入を以て經常收入に置きかへたものでたゞにこうしたやり方が二年三年と繼續出來ないばかりではなく、一度通用した

財産はやがてその戻し入をしなければならないので、こゝにこれ等町村の後年度財政は二重に壓迫される事になるわけである。ところが問題はそればかりではない、今度の税制變更によつて地租の課税標準が土地の賃貸價格となり七年度から附加税もその影響を受ける事になつて居り、農漁山村地方は附加税の減額となるのでこうした町村において前記の方法による戸數割減が行はれてゐる場合は後年度財源の壓迫は三重となるわけである、これに對し町村當局はそれまでにはまた景氣も直るからとの瀑然たる

態度でゐるらしいがたとへ景氣は多少回復するとしても、そのうちには各種轉貸低利資金の償還期間に入う、これがまた多分に償還難を豫想されてゐるのでその前途はます〳〵容易ならぬものなりとして憂慮されてゐると伏見石城町村長會長は語つて居た

× ×

實彈射撃場を 平町近傍に設く

石城在郷軍人分會の計劃 目下土地を物色中

石城郡在郷軍人聯合分會にては毎年招魂祭の當日を下して銃劍術及び

弓道等の試合を催して居たが更らに實彈競射を行ふ爲めに其射撃場を必要とし目下平町附近を物色中であるが實彈射撃となれば少くも三百米以上の射程を要し危險も伴ふ事とて仲々適當の候補地がない模樣である平獵友會の谷川瀬射撃場等も

候補地の一つとなり實査の結果は小規圍にて到底ものにならず平町を餘り隔れた地点では縣下の大會等を催すに當つて不便が多いのでどうしても平町内或ひは近接地点に是れを設くべく同會幹部が氣を揉んで居る

内郷共濟會 資金集まる

成績は良好

過般組織された石城郡内郷村の共濟會では村民の生活改善を目的に目下野木會長始め各役員が資金募集に奔走中であるが不況の折なので多少懸念されてゐた處昨二十二日迄における成績は頗る良好で合計六十三圓四十五錢、白米一石四升五合の寄附があつた尚各部落における分は左の如し

△御厩方面（百卅七名）十六圓九十五錢　白米五斗六升五合

△御臺境方面（卅八名）六圓二十錢　白米二斗七升

△小島方面（八十六名）卅圓三十錢　白米三斗四升

春蠶良好

來月十日頃上簇

本郡下における春蠶は發育頗る良好で目下大並三齡中のものが多く例年ならば二三齡において違蠶を生じてゐるが今年は珍らしく郡下に皆無で非常な豐蠶振りを示し來月十日頃には上簇の見込みで各取引所共十五六日頃から開始するらしく四倉植田勿來等の繭市場は大体十五日開場の豫定で目下準備をいそいでゐる

海兵團の出發

來る三十一日早朝

一日横須賀海兵團に入團する縣下海軍志願兵中石城、相馬、双葉の三郡は來る三十日午後四時平町役場に集合し翌卅一日午前七時五分發列車で出發すると

植松大佐講話

來る五月二十七日の海軍紀念日における平町各中等學校では海軍々令部出仕海軍大佐植松練磨氏を招聘し軍事講話をなす筈

話をなす筈

取消　本紙去る廿二日發行紙上に掲載した選擧取締りの氣分にも影響と題する某署高等係り談は内容相違し誤報せるものに付き警察官の名譽の爲めに全文を取消す

平町人事

□出生

△南町六十　小池江之介氏二女トシ子

□死亡

△舊城跡鐵道官舍　山浦清一（三）

△長橋町三六　當時東京府下荏原郡六郷町鈴木シゲ（五四）

□婚姻

△夏井村字下大越　田中吉郎（二六）久保町四八　和田榮子（二一）

滿鮮土産談（四）

川崎小鳥

◇滿州の野に、我同胞が尊い血を注いだ代償として我國が獲得した、滿州に於ける特殊の權益は何んであつたか、即ち我國は一九〇五年九月五日、ポーツマス條約の結果として、極東の平和的進展を保つ上に、露國から繼承した權利を摘記すると、左記の如くである少々固苦しくはなるが、談を進める上に重要な点であるから御一讀を乞ひ度い。

第五條、露西亞帝國政府は清國政府の承諾を以て旅順港、大連並に其附近の領土及領水の租借權及該租借權に關聯し、又は其一部を組織する一切の權利、特權及讓與を日本帝國政府に移轉讓渡す

（下略）

第六條　露西亞帝國政府は長春（寛城子）旅順港間の鐵道及其一切の支線並同地方に於て之に附屬する一切の權利、特權及財産同地方に於て該鐵道に屬し又は其利益の爲め經營せらるゝ一切の炭礦を補償を受くること無く且清國政府の承認を以て日本帝國政府に移轉讓渡すべきを約す

◇此の條約を清國も承諾した結果、日本の取得した權利、利益の中、前記の租借權鐵道經營權以外の重要なものは次ぎの如くである

一、鐵道附屬地行政權

一、滿鐵併行線敷設禁止の權利

一、安奉鐵道經營權

一、滿鐵材料免税の利益

一、鴨綠江岸採木合辨權

一、滿韓國境貿易に關する最惠國の待遇

一、大連港關税免除權

一、鐵道守備兵駐在權

一、滿州中立地帶に關する權利

◎球根

▽ダーリヤ　カクダス咲　五種五球木箱詰　一圓
▽カンナ　五種五球　同　八十錢
▽グラヂオラス　十種十球袋入　四十錢
▽同　混合袋入　廿五錢

◈どれも品種優秀、發芽正確の良球のみです
賣切れぬうち御求の程を……

平町四丁目（電話二一四番）
松本園藝種子部

若人よ……朗らかに歩め

近代人の感覺は明るく放射する

あすはお休み

濃綠滴るころ

◇……明日は日曜、そして天氣も北西の風晴といふんです、ピクニックにランデブーに初夏の行樂の興趣は平町近郊にも展開されるでせう。

◇……あらゆる草木の青々とした觸手が幽かな息吹と共に蒼空に伸びてゆきます、そして初夏の天地の靜寂さを一層壯嚴ならしめてゐます。

◇……此の靜寂の好もしさ、朝夕のなつかしさ、綠一色に映發された大自然の中に日光のかゞやきがゆるやかな拋物線を描いてたん〳〵と輻射してゐます。

◇……太陽と草木との烈しい抱擁が釀しだす惱ましさに濃綠のころはインテリゲンチャ特有の或る堪え難い憂鬱を感じるんです。

◇……そんなことはどうでもいゝんです、只海へ山へ行樂の一日を持つために若い人々が待つてゐる明日といふ日に幸あれです。

◇……關伽井岳、タクシーは岳下まで一圓五十錢、それから山を登り乍ら一歩々々廣がつてゆく下界を俯瞰するんです、けれど羽化登仙なんて古い言葉です。

◇……新舞子、タクシーはやつぱり一圓五十錢です初夏のラムデブーには實に適はしい松籟と濤聲が二人の心をとても嬉しくしつちまふんです、濱豌豆の紫が砂上にとてもあでやかです

◇……豊間の海、少し遠いんですがタクシーで三圓途中の辨天様の池に映つた滴るやうな綠の影がバラソルの中へ反映してそこに立つ人を美しくします、濱へ行くと海風が强くかも知れません。

◇……白土八幡附近、一番近いから誰でも行かれます、夏井河畔の綠の傾斜で子供達は喜々として解放されます、濱濱道の松並木が丁度廣重の繪の様です――つてタヒラの女學生は言ひました。

◇……うら若い女性が歩くのに風は禁物です、裾がまくれるとすぐにエロだとなります、そんじよそこらの兄イ連や姉ゴさんは近ごろモダンな事を憶えました野暮つたいことは言はなくなつた代りに近代人的感覺を明るく放射してとても朗らかになつたんです。

公園の櫻樹の數

一体何本あるか誰れも判らない

土木課が調べた結果

一千六十一本也

平町松ケ岡公園の櫻は今では東北の名所の一つに數へられる事となつた、夫れにしても櫻樹の數は一体何本ある事だらうか、何んでもない事だが「サア三四百本もあるかネエ」といつた調子で確然と判つて居る人は一人もない、其處で平町役場の土木課では葉櫻になるのを待つて數を調べ始つた、先般來樹の幹に番號札が張り付けられたのは其の爲めである、其處で昨日漸く調べ終つて初めて公園地内の櫻樹の數が明らかになつたが夫れに依ると

總數は 一千六十一本との事であるまた新川端の櫻は總數二百四十一本で此内昨年から本年に掛けて新川改修工事の爲めに七本を犧牲にしたが夫れでも二百三十四本は春毎に美觀を添える、斯ふ數が判つて見ると今更らながら平町の櫻も仲々大したものではないが

戸石新任局長

新任平郵便局長戸石清氏は去る二十日赴任したが本日各官廳を歴訪し赴任の挨拶を述べた

小野田鑛運動會

石城郡磐崎村小野田炭礦の保險組合では同組合員の健康增進の爲め卅一日磐崎第一小學校で運動會を行ふこと事となつた

昨朝來の豪雨で江名方面被害甚し

浸水家屋五十戸に達す

村民は徹夜

昨朝來石城地方を襲つた暴風雨は今朝に至つて漸やく靜穩に歸したが郡内江名方面においては殊に猛威を逞ましうして同町内の浸水家屋は約五十戸に達し同町字中ノ作地内のみで二十戸の多數に上り村民は不寢のまゝ徹夜した有樣であつた

突如山崩れ

家屋下敷き

濱三郡一帶を襲つた昨夜の豪雨のため石城郡江名町字中ノ作、作山彌太郎方裏の山林は同夜八時頃約二十間程崩壞し前記彌太郎方住宅の一部を破壞したが幸ひ人畜には被害なし

江名分教場の四家主任奉仕

石城郡江名小學校永崎分教場主任四家健吉氏は最近村内に理髮店のないのを遺憾とし自費を以てバリカンを買求め村内の貧困兒童に對し晝休み日曜を利用し散髮してゐる爲村民から感謝されてゐる

子供を避け自動車突入

家屋の一部を破壞

石城郡内郷村綴驛前薄葉自動車店運轉手小林虎夫（二四）は去る廿一日午後五時半乘合自動車を操縦湯本方面疾走中同村御厩字上宿地内路上に遊んでゐた同村御厩の野木秀夫（四ツ）を避けんとして長谷川ナカ方に衝突し家屋の一部を破壞し平署の取調を受けた

磐炭陸上競技會

石城郡内都村磐城炭礦では廿五日午前九時から從業員慰安のため專用グランドに陸上競技會を開催すると

平在郷分會に海軍班新設

役員を決定

平町在郷軍人分會では來る廿七日の海軍記念日には午後零時より同分會の評議員會を招集して同分會に新設の海軍班規約を審議し午後二時よりは松ケ岡公園の忠魂碑前に於いて記念講演會をなす筈であるが尙新設海軍班の役員は左の如く決定

班長太田良一副班長鈴木三郎理事神長倉金造　岩立淺藏　同荒川千代造　幹事柏原幸太郎

磐女生に土產

縣立磐城高等女學校にては本日午前十時から川崎本社長を招き滿鮮視察の土產談を全生徒に傾聽せしめた

明日のラヂオ

仙台放送局　廿四日

氣豫報

今晚は北西の風强く晴時雨もあります明日は北西の風の風晴

今晚の部

▼後六、〇〇（子供の時間）獨唱　獨唱平井英子　伴奏藤田喜興子

▼後六、三〇　英語講座「中等科第三講の六」ケーグロス　溝口歌子贊助出演

▼後七、〇〇　全國ニュース官廳ニュースを含む　河北新報社ニュース　氣象通報　告知事項　番組豫告

▼後七、二五　趣味講座「正宗と村正」本阿彌光遜

▼後八、〇〇　連續講談「高砂浦五郎」終席　賓井琴凌

▼後八、三〇　明淸樂「要棋」提琴平井運山其他

▼後九、〇〇　新日本音樂　杉浦道人其他

▼後九、四〇　時報　全國ニュース　氣象通報　番組豫告　告知事項

明日の部

▼前九、〇〇　氣象通報

▼前九、一〇　榮養料理「末廣揚げ」榮養研究所

▼前九、三〇（子供の時間）獨唱能美正彦伴奏林仙二

▼前一〇、〇〇　修養講座「個人主義と平等思想」平之亮禪

▼前一一、〇〇　講演「一般文化と儒敎」文學博士　深作安文

▼正午　時報　氣象通報　今日午後の番組豫告、告知事項

▼後〇、二〇　運動競技「春季六大學野球リーグ戰試合狀況」早帝第二回戰、明立二回戰（雨天の際は）

▼後〇、三〇　全國ニュース

▼後〇、四〇　和洋合奏　浪花合奏團　獨唱　井上起久子

▼後一、一五　琵琶「龍の口」畑錦成

▼後一、五〇　落語「小言幸兵衛」春風亭柳橋

▼後二、二五　浪花節「越後傳吉」玉川太郎

▼後三、四〇　氣象通報

▼後四、〇〇　角力中繼「東京大角力夏場所」千秋樂

▼後六、〇〇（子供の時間）童話劇「鬼の面」川上樂劇團

▼後六、三〇　趣味講座「燕の渡りに就て」熊谷三郎

▼後七、〇〇　全國ニュース　河北新報社ニュース　氣象通報　告知事項　番組豫告

▼後七、二五「洋樂の夕」（獨唱）ハイバリトン　吉田正、ピアノ伴奏　宮城通子、ヴァイオリン助奏　石川進　一、佛蘭西現代歌曲　ボンジュールシューゾンテリーブ曲　二、悲歌（エリジー）マスネー曲　三、五つから成る佛蘭西現代民謠　モリスラヴエル曲　イ、花嫁の唄　ロ、敎會の彼方へ　ハ、男自慢　ニ、乳香樹の實を拾ふ女　逢の歌　ホ、歡喜

▼後八、〇〇　ピアノ三重奏　レオ、シロタ外二名

▼後八、四〇　マンドリンオーケストラ　アルモニアマンドリンオーケストラ　指揮澤口忠左衛門

▼後九、〇〇　獨唱と管絃樂　獨唱遠藤咲子　東京ラヂオオーケントラ　指揮奥山貞吉

▼後九、四〇　時報　氣象通報　番組豫告　告知事項

女文字

捕物 おぼえ

東京 橋場鮒刺 〔米田安藏畫〕

（其一〇）

◇五百兩の質

お千代が後に……彼の時ほど不思議なことは無かつた、餘り考へては思案に餘るとは全くで、心持が行詰つて何うする事も出來なかつた、手柄の出來たのは階子段から落ちたお蔭だ……と一ッ話しにしたさうだが、凝つては思案に能はずとは其處であつたらう。

其階子段のお蔭と云ふのは何う云ふのであるか――お千代は早速杉坂屋へ出向いて、人を避け主人小左衛門夫婦と密談を小半時して歸つた。

小左衛門はお千代の旨をうけたのであらう、早速其の準備に掛つた四五日すると、惡戯兒のお新の誕生日が來る『今年は例年になく誕生祝ひを盛んにしたい』と店のもの一同にも話し、親類縁者から近所隣の出入の者まで招いて、大酒宴を開く、其中には三河屋の女房お千代も交つて居た。

殆んど百人以上の客で、さしも廣い杉坂屋の家も、人をもつて埋る位、十二疊と十疊の間二ッ、三間ブッ通しにして左右に客が居流れたが、肩と肩とを摺れ合ふばかり、酒も半になつた時主人小左衛門は、一ッの桐の箱を持出し一同へ扱て各々樣、細工繁用のところを斯くもお揃ひ下さつて忝ない、別に何等馳走もなく是れと云つて興がござらぬ、依つて御酒の一興に詰らぬものを御覽に入れる、用意のものを夫れへ』と差圖する。

店の者が三人掛りで大火鉢を側へ持出して据えた、其の火鉢には山のやうに炭火が起つて居る。

『手前は恥を包むと云ふことは大嫌ひ、然るに今日まで一ッの恥を包んで居た、夫れは別でも無い』小左衛門が斯う云つて火鉢の

中へ進んだ時、丸くなつて飛出して來たのは婆女だつた。

『日那誤何とした事でございます、恥も角も人樣からお預かりの品、跡で彼の方が見えました時は何をもつてお詫なさいます』

『心配するな大のペテン師共して大金の持參が出來る譯がない、若し間違つて來た時は金子千兩をもつて詫をする、見ろ彼の通り千兩の金子が備へてあるでは無いか』と小左衛門は床の間の違ひ棚を指さし示した。

來客一同は始めて違ひ棚に眼を着けると、成程片隅に千兩箱が一ッあつた、何の爲めに大金を人に見せるのかと、茲に氣の付いた人も始めて小左衛門の心を讀む。

婆女の止めるも聞かず、小箱から寄い色の一ッの香爐を出して、火鉢の上に置くと、忽ち黑い煙が立つて、何とも云へぬ惡い匂ひが家中瀰漫なく廻る。

『あはゝゝゝ相當の大金が煙と消えた、皆樣小左衛門の愚とこあるは寄磁の香爐なりと騙られ、莫大の金を騙取られたもので、能く調べて見ると寄磁とは眞赤な嘘で蠟細工の品と判つた、今日までは大切に持つて居たが、仕舞つて置けば置くほど、自分の恥を深く包むに似て心苦しいこと此上なし依つて此品を火に掛け、解けるか解けぬかを試して見る、首尾よく解けたれば皆樣ドットお笑ひ下さい』小左衛門が斯う云つて火鉢の

が騙に遭つたことだ、此の小箱にて來たのは婆女だつた。

『日那誤何とした事でございます、恥も角も人樣からお預かりの品、跡で彼の方が見えました時は何をもつてお詫なさいます』

『心配するな大のペテン師共して大金の持參が出來る譯がない、若し間違つて來た時は金子千兩をもつて詫をする、見ろ彼の通り千兩の金子が備へてあるでは無いか』と小左衛門は床の間の違ひ棚を指さし示した。

來客一同は始めて違ひ棚に眼を着けると、成程片隅に千兩箱が一ッあつた、何の爲めに大金を人に見せるのかと、茲に氣の付いた人も始めて小左衛門の心を讀む。

婆女の止めるも聞かず、小箱から寄い色の一ッの香爐を出して、火鉢の上に置くと、忽ち黑い煙が立つて、何とも云へぬ惡い匂ひが家中瀰漫なく廻る。

『あはゝゝゝ相當の大金が煙と消えた、皆樣小左衛門の愚ところをお笑ひ下さい、お蔭で私にサッパリして氣持が好い、サァ〳〵酒だ』と小左衛門は一人喜んだが客は妙な樣をしたものだ、杉坂屋はチト氣が變になつたのだらう定めし大金を騙られた餘り、取のぼせでもしたものかと、氣の毒がつたかして餘り酒も飲まず立つものもあり、暫くしてお開きとなつた。

然るに小左衛門が質に預かつた寄磁の香爐を破壞したと云ふ噂は三日ならずして世間へパット立ちました。

スルト或日の事『小左衛門久方振であつたな』と入つて來たのは例の渡邊木工兵衛である、今日は件が一人でなく殺氣の者が三人共外草履取りが一人、主從五人で乘込んだ。

『是れは渡邊樣何うなさいました、茲暫くお出がないから御心配申上げて居りました、サァ〳〵何うぞ……』と小左衛門驚いた體もなく興座敷へと案内する。

印刷物の御用命は總て
常磐毎日印刷株式會社へ　電話六三〇番

外務職員 招聘

眞面目に自己の將來を想ふ方は實際に契約者本位の優良會社に勤務する事が唯一の方策であることを特に深く尊重すべきであります此要件は保險外務の從事員にとつては殆ど絶對的であることを斷言して憚りません
時代は刻々に進展し人は益々眞劍に優秀を嚴選す選びに應ずる事實的資格如何が問題中の問題やがて運命の鍵肝要なり第一歩の

希望者は左記へ御申出を乞ふ

第一生命保險相互會社
平町駐在
監察員 大柴尊二
平町舊城跡十一番地

貸切の!!
御用命はゼヒ
電話三九五番へ
芹澤自動車商會
タクシー部
貨物運輸部

看護婦急派の求めに應じます
平町南町
平看護婦會
電話三〇七番

お醤油は……ヤマフル
醤油味噌
たひら正宗
鰹節食料品
鹽屋
山崎合名會社
福島縣平町
營業部一〇番
電話（醸造工場二七番）

内科・小兒科・花柳病科
藤沼醫院
入院需應
平町紺屋町
電話五〇七番

配達
風味 平町三千百
繁盛 大勝園
天下一品
鈴木商店
電話三九六番
迅速
◇本場新茶走賣初メ申候　一斤　一圓五十錢
◇花壺新入着

江戸前料理 食堂
御試食になりましたか錦水の
御重入辨當　金三十錢
是非一度御注文願ます
出前迅速　錦水
新設電話四五四番

外科
X光線科
性病科
外科
平町田町
安齊外科醫院
電話四七五番
入院隨意